

北海道大学名誉教授 金田清志先生ご逝去のお知らせ

北海道大学名誉教授 金田清志先生（享年 86 歳）におかれましては以前より病
気療養中でしたが、令和 4 年 10 月 9 日に永眠されました。

金田先生は平成 13 年から 3 年間日本脊椎脊髄病学会の理事長を務められ、脊
椎脊髄外科学の発展にご尽力されました。また、本学会の前身である日本脊椎外
科学会の第 13 回、第 27 回学術集会を主催されました。

金田先生のご略歴とご業績

ご略歴

昭和 11 年福島県に生まれる。昭和 37 年 3 月北
海道大学医学部を卒業された後、北海道大学副
手、講師、助教授を経て昭和 61 年 8 月より北
海道大学教授、平成 7 年 4 月より北海道大学医
学部附属病院登別分院長を併任され、平成 12
年 3 月に北海道大学を定年にて退職、平成 12
年 4 月に北海道大学名誉教授になられておりま
す。北海道大学を退職後は、平成 12 年 4 月よ
り平成 19 年 3 月まで北海道美唄労災病院（現
北海道せき損センター）の院長を勤められ、へ
き地医療や脊椎脊髄損傷の治療に尽力されまし
た。



ご業績

主に脊椎のバイオメカニクス研究と脊柱前方再建手術用インストゥルメント
「Kaneda device」の臨床応用開発に取り組み、脊椎損傷や脊椎側弯症の治療に
大きく貢献されました。Kaneda device は、1989 年にアメリカ食品医薬品局 (FDA)
の承認を受けた後、アメリカやヨーロッパなど世界中で使用され、国際的に高い
評価を得ました。これらの功績が認められ、国際学会から多数の受賞をうけてお
ります。また、高齢化人口の増加に伴う骨粗鬆症の問題にも早くから警鐘を鳴ら
し、その診療や研究に取り組んでこられました。

整形外科関連の国際学会でも精力的に活動され、平成 9 年には国際腰椎学会の
会長を務められました。整形外科科学のグローバルイニシアチブを目標のひとつに

掲げられ、世界水準の治療や最先端の治療を日本に導入されました。また、脊椎外科学における最も権威のある国際学術雑誌のひとつである SPINE のシニアエディターを務められ、国際的にも脊椎脊髄外科学の発展に大きく寄与されました。

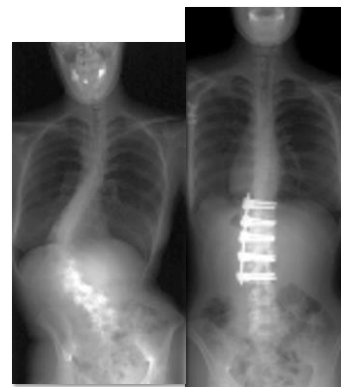
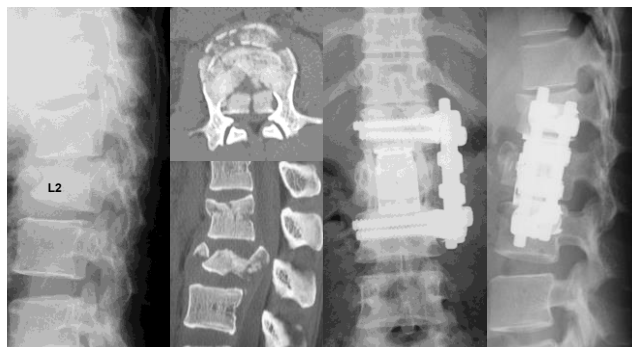
主な国際学会賞

- 1985年 W.P. Blount Award (Scoliosis Research Society)
- 1998年 John H. Moe Award (Scoliosis Research Society)
- 1999年 Russell S. Hibbs Clinical Award (the International Society for the Study of the Lumbar Spine)
- 2000年 Steindler Award (Orthopedic Research Society)
- 2004年 ISSLS' s Wiltse Lifetime Achievement Award (the International Society for the Study of the Lumbar Spine)
- 2011年 NASS' s Wiltse Award (North American Spine Society)

Kaneda device

外傷例(第2腰椎破裂骨折)に対する前方脊椎再建術

側弯症に対する前方矯正固定術



(北海道大学大学院医学研究院整形外科教室 准教授 高畑雅彦)